

カキノヘタムシガに注意

発生時期 (発蛾最盛期)	平年並 (平年比1日早)
発蛾最盛期樹あたり発生量 本年：2.2頭（平年：1.8頭） 発蛾最盛期 本年：5月15日（平年：5月16日）	

岐阜市木田の調査地点では、見取り調査の結果、越冬世代成虫は平年より早い5月3日（平年5月9日）から観察され、発蛾最盛期は5月15日（平年5月16日）と平年並でした。なお、発生量は1樹あたり2.2頭（平年1.8頭）と平年よりやや多いです（図）。

発蛾最盛期10日後頃より果実への食入が始まるため、防除適期は5月下旬と予測されます。なお、例年発生が多いほ場では1回目散布から7～10日後に追加防除を実施してください。

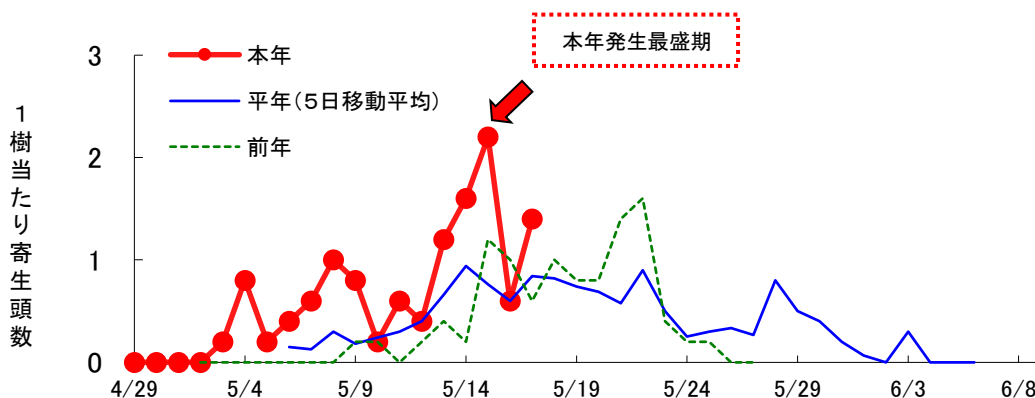


図 見取り調査によるカキノヘタムシガ(カキミガ)越冬世代成虫の1樹あたり寄生頭数の推移 (岐阜市木田)

- ・農薬の使用にあたっては、最新の登録内容を確認し、適正に使用してください。
農薬登録情報提供システム
<https://pesticide.maff.go.jp/>
- ・当所のホームページに発生予察情報、病害虫調査データなどを掲載していますのでご活用ください。
岐阜県病害虫防除所
<https://www.pref.gifu.lg.jp/soshiki/24321/>